

福井県おおい町（旧名田庄村）でヒメハルゼミの生息を確認

和田 茂樹*

On new habitats of *Euterpnosia chibensis chibensis* Matsumura, 1917 (Hemiptera: Cicadidae)
in Oi-cho, Fukui Prefecture, Japan

Shigeki WADA*

(要旨) 福井県内ではこれまで若狭町の御神島が唯一の生息地とされていたヒメハルゼミの新たな生息地をおおい町（旧名田庄村）で発見した。

キーワード：ヒメハルゼミ，福井県

福井県おおい町（旧名田庄村）でヒメハルゼミ *Euterpnosia chibensis chibensis* Matsumura, 1917の生息を確認したので報告する。福井県内ではこれまで佐々治 (1978) により報告された若狭町（旧三方町）の離島・御神島が本種の唯一の生息地とされており（福井県自然環境保全調査研究会，1999；福井県福祉環境部自然保護課，2002），同地以外から記録されるのは今回が初めてと思われる（図1）。報告に当たり，樹木の同定を行って頂いた多田雅充氏（福井県海浜自然センター所長），文献収集の面でお世話になった長田 勝氏（沖縄県那覇市），下野谷豊一氏（福井市）に厚く御礼申し上げる。標本は筆者が保管している。



図1：福井県と京都府におけるヒメハルゼミの既知産地と今回の発見地（福井県おおい町奥坂本・口坂本）との位置関係（京都府の生息地は嶋田(2008)をもとに作成）

採集記録・鳴き声の記録

福井県おおい町（旧名田庄村）奥坂本虫野：鳴き声多数（12時51分～13時10分），9-VII-2011；鳴き声多数（12時39分～13時37分），10-VII-2011；鳴き声多数（17時28分～17時54分），17-VII-2011。

福井県おおい町（旧名田庄村）口坂本小谷：鳴き声多数（13時15分～13時53分），9-VII-2011；1♀（体長26mm・全長34mm，図2）・2♀羽化殻（体長18mmと19mm，図3）・鳴き声多数（13時39分～14時52分），10-VII-2011；鳴き声多数（17時58分～18時34分），17-VII-2011。

※天候はいずれも晴れ又は晴れ時々曇り。カッコ内の時間は滞在時間で，その間断続的に鳴き声を確認された。

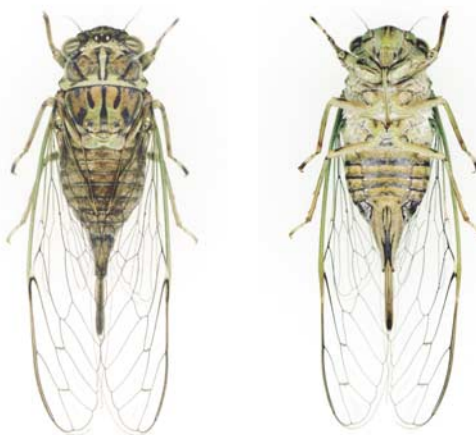


図2：♀（左：背面，右：腹面）体長26mm・全長34mm
福井県おおい町口坂本小谷 10-VII-2011



図3：♀羽化殻 体長19mm
福井県おおい町口坂本小谷 10-VII-2011

*〒918-8004 福井市西木田3-8-18

*3-8-18, Nishikida, Fukui City, Fukui, 918-8004, Japan

奥坂本虫野では民家近くのモウソウチク・スギ林の中に生えたケヤキの高木などで合唱を確認したほか、そこからやや離れたクリなどでも数個体の鳴き声を確認した。口坂本小谷では常英寺周辺のシラカシ林で合唱を確認した。いずれも日中は1～3分程度の合唱が概ね5～15分程度の間隔で繰り返されていたが、夕方は連続のかつ日中よりも広範囲から鳴き声が聞こえた(鳴き声は7月9日を除きICレコーダーで録音した)。鳴き声はいずれも樹木の高所から聞こえ、姿を確認することすら困難であったが、口坂本小谷で7月10日、シラカシに隣接するウワミズザクラの高さ約3mの枝に静止していた1♀を採集した。また、7月10日には、口坂本小谷のシラカシの根本付近に放置された伐木でヒグラシの羽化殻とともに本種の羽化殻2♀を採集した(羽化殻の同定は青木(1999)や手元の近似種の標本等をもとに行った)。8月14日午後4時～4時30分に口坂本小谷を訪れた際には鳴き声は聞こえなかった。

本年の調査は期間、回数、方法ともに甚だ不十分であるが、局地的ではあるものの、鳴き声を聞く限り相当多数の個体が生息しているものと思われた。本種は近隣の京都府では福知山市大江町の元伊勢内宮、京丹後市峰山町の藤社神社、与謝郡伊根町の青島と日出・亀島地区で生息が確認されており(嶋田, 2008)、今回の発見は御神島とこれら京都府北部の生息地との間の分布空白域の一部を埋める形となったが、今後の精度の高い調査によりさらに新たな生息地が発見される可能性は十分にあると考えられる。

引用文献

- 青木淳一, 1999, 日本産土壌動物—分類のための図解検索. 東海大学出版会, 1076p.
 福井県自然環境保全調査研究会, 1999, 福井県のすぐれた自然 動物編. 福井県, 452p.
 福井県福祉環境部自然保護課, 2002, 福井県の絶滅のおそれのある野生動物(福井県レッドデータブック 動物編). 福井県, 243p.
 佐々治寛之, 1978, 福井県御神島にヒメハルゼミ生息 付, 暖地性昆虫数種の分布記録. 昆虫と自然, 13(9), 23-24.
 嶋田 勇, 2008, 京都府におけるヒメハルゼミの新たな生息地. CICADA, 19(2/3), 44.

On new habitats of *Euterpnosia chibensis chibensis* Matsumura, 1917 (Hemiptera: Cicadidae) in Oi-cho, Fukui Prefecture, Japan

Shigeki WADA

Abstract

In July 2011, habitats of *Euterpnosia chibensis chibensis* Matsumura, 1917 (Hemiptera: Cicadidae), which in Fukui Pref. has only been known from Ongamijima Island, were newly found in Oi-cho, the former Natasho-mura, Fukui Pref., Japan, located in the blank area of distribution between the known habitats Ongamijima Island and northern Kyoto Prefecture.

Keywords: *Euterpnosia chibensis chibensis*, Fukui Prefecture